

FAX 通信

2006年6月1日発行 No.01-16

From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

シール概論・別冊 (16)

3. シール関連の規格類

JIS B 2404:1999 「管フランジ用ガスケットの寸法」

この規格は、流体が蒸気、水、油などの管フランジに使用するガスケットの寸法について規定したものです。

ただし、ガスケットの材料の規定はなく、ガスケットの種類、材料、及び厚さの選定については、運転条件、ガスケットの材料特性、ガスケット座の形状、フランジの表面粗さ及びフランジのボルト荷重を考慮するように記載されていますので、シールメーカーの発行しているカタログなどを十分に確認して決める必要があります。(ISO規格の整合性から、このような規格が多くなってきています)

ガスケットの種類には

- 1) 非金属平形ガスケット (ゴムシート、布入りゴムシート、四ふっ化エチレン樹脂シート、膨張黒鉛シート、ジョイントシート)
- 2) うず巻形ガスケット
- 3) 四ふっ化エチレン樹脂ジャケット形ガスケット があります。

なお、附属書(規定)には、JIS B 2238～B 2240の鋼製、鋳鉄製、銅合金製フランジ通則の附属書に含まれていたガスケットに規定されています。

JIS B 2405:2005 「メカニカルシール通則」

この規格は、一般に使用するメカニカルシールの性能、構造、寸法、取付機器の精度、性能試験及び表示に関する事項に規定したものです。

従って、メカニカルシールに関する全て纏め上げたもので、基本となる重要な規格です。

メカニカルシールの仕様を検討や内容を勉強するには、役立つものです。(ただし、適用されているISO規格は、現状はありません。)

JIS B 2406:1991 「Oリング取付溝部の形状・寸法」

この規格は、JIS B 2401に規定するOリングのうち、使用圧力25MPa以下のものに取り付ける溝部の形状・寸法について、規定されたものです。ただし、真空フランジ用(JIS B 2401のVシリーズ)及び低摩擦用の溝には適用していません。

特に、低摩擦用とは、空気用などの運動用に使用する溝については、規定しないことに注意すべきでしょう。

従って、空気圧用の運動用の溝は、個別にシールメーカーに相談すべき事項となります。

(固定用は油圧用も空気圧用も同じで溝でよいことを示しています)

次回にもう少し述べますが、バックアップリングを併用すべきか否かを定める圧力と隙間との関係などが重要です。

(続く)

コタニ株式会社の取り扱い製品の紹介(2)

(1)ヨーロッパ伝統の手工芸技術から生まれたDENIT TESNIT社

ノンアスベスト・ジョイントシート製品

- ・(BA-U) アラミド繊維+NBR
- ・(BA-R) アラミド繊維+NBR+ワイヤで補強
- ・(DONIFLEX G) アラミド繊維+グラファイト+NBR
- ・(グラファイトSL) グラファイト+SUS

カタログや技術資料のご要求は下記にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX:078-252-1158

FAX通信の記事についてのご意見や質問は次のメールアドレスに連絡ください。knemoto@suite.plala.or.jp (根本)